＜様式1＞

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	やまぐち木の家ネットワーク地域型住宅
グループの名称	やまぐち木の家ネットワーク
直近採択グループ番号	04-0347-0639

（グループ代表者）

代表者名	原　孝夫　代表者印
代表者所属先	株式会社原工務店
代表者所在地	山口県防府市桑山2丁目11-18
代表者電話番号	0835-38-0233

（グループ事務局）

事務局事業者名	株式会社トピア
事務局担当者名	山本　聡　印
事務局郵便番号	753-0871
事務局所在地	山口県山口市朝田131-1
事務局電話番号	083-928-5566
事務局FAX	083-924-3399
事務局担当者E-mail	yamamoto@topia-i.co.jp

※）　日付以外は、様式2-1からリンクする為、入力は必要はありません。

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	やまぐち木の家ネットワーク地域型住宅
２．グループの名称(必須)	やまぐち木の家ネットワーク
３．直近採択グループ番号(必須)	04-0347-0639
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	山口
５．結成年(必須)	2012　年
６．グループ代表者名(必須)	原　孝夫
７．グループ代表者の所属先(必須)	株式会社原工務店
８．グループ代表者所在地(必須)	山口県防府市桑山2丁目11-18
９．グループ代表者電話番号(必須)	0835-38-0233
１０．グループ事務局事業者名(必須)	株式会社トピア
１１．グループ事務局担当者名(必須)	山本　聡
１２．グループ事務局郵便番号(必須)	753-0871
１３．グループ事務局所在地(必須)	山口県山口市朝田131-1
１４．グループ事務局電話番号(必須)	083-928-5566
１５．グループ事務局FAX番号(必須)	083-924-3399
１６．グループ事務局担当者E-mail(必須)	yamamoto@topia-i.co.jp

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ．原木供給	2	
Ⅱ．製材・集成材製造・合板製造	7	
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	3	
Ⅳ．プレカット	3	
Ⅴ．設計	0	施工業者が設計業務を行う
Ⅵ．施工	7	
Ⅶ．木材を扱わない流通	0	
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種	0	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品（合法伐採木材等証明）	番号記入欄	国内・国外
A．使用する地域材に関する事項　(必須)	■　合法木材証明制度を利用する	全国		3	国内
	□　合法木材証明制度を利用する	国外		3	国外
	□　PEFC認証制度を利用する	国外		2	国外
	□　SGEC認証制度を利用する	全国		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	全国		2	国内
	□　FIPC認証制度を利用する	全国		2	国内
	使用する地域材は必須項目です。				

B．平成２９年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数（必須）	長寿命型（長期優良住宅） **経験**工務店による申請戸数	申請が確実（上限100万円）		25	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	25	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	5	戸
		申請が未確定（上限100万円）		10	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	10	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	5	戸
	長寿命型（長期優良住宅） **未経験**工務店による申請戸数	申請が確実（上限100万円）		0	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		申請が未確定（上限100万円）		0	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	0	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	0	戸
	高度省エネ型 （認定低炭素住宅）の申請戸数	申請が確実（上限100万円）		0	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		申請が未確定（上限100万円）		0	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	0	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	0	戸
	高度省エネ型 （性能向上計画認定住宅）の申請戸数	申請が確実（上限100万円）		0	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		申請が未確定（上限100万円）		0	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	0	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	0	戸
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー） **経験**工務店（4戸（8戸）以上）による申請戸数	申請が確実（上限150万円）		4	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	4	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	1	戸
		申請が未確定（上限150万円）		4	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	4	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	0	戸
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー） **未経験**工務店（4戸（8戸）未満）による申請戸数	申請が確実（上限165万円）		4	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	4	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		申請が未確定（上限165万円）		2	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	2	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	0	戸

C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実		棟
				㎡
		申請が未確定		棟
				㎡

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール （必須）	当グループに参加する工務店で使用できる戸数を聞き一棟づつ均等に配分。まだ配分できる戸数がある場合はできる工務店に配分。

E. 平成２８年度の執行状況（必須）	長寿命型（長期優良住宅）									
	当初予算	採択戸数	5	戸	交付申請戸数	5	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	5	戸
	補正予算	採択戸数	3	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	1	戸
	高度省エネ型（認定低炭素住宅）									
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸
	高度省エネ型（性能向上計画認定住宅）									
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー住宅）									
	当初予算	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	2	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸
	優良建築物型									
	当初予算	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績（竣工予定含む）棟数	0	戸
	当初予算	採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績（竣工予定含む）床面積	0	㎡

＜様式 2-2・Ⅰ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
35	Ⅰ － 1	山口県森林組合連合会		753-0048	山口県山口市駅通り二丁目4番17号	083-922-1955
35	Ⅰ － 15	大林産業　株式会社		747-0344	山口県山口市徳地八坂700	0835-65-5005
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					

＜様式 2-2・Ⅱ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
35	Ⅱ － 2	今井木材株式会社		741-0063	山口県岩国市関戸１０３８－１	0827-43-1266
35	Ⅱ － 3	有限会社　中島材木店		759-4504	山口県長門市油谷河原1051番地3	0837-32-1176
35	Ⅱ － 4	株式会社　シンラテック		759-4402	山口県長門市日置中758-131	0837-37-5001
35	Ⅱ － 5	有限会社　福井製材所		750-0424	山口県下関市豊田町矢田338-1	083-766-0071
35	Ⅱ － 6	池永商事株式会社		758-0011	山口県萩市椿東5605番地	0838-25-0527
35	Ⅱ － 15	大林産業　株式会社		747-0344	山口県山口市徳地八坂700	0835-65-5005
35	Ⅱ － 16	大林産業　株式会社　佐山事業所		754-0894	山口県山口市佐山3-47	083--989-6950
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					

＜様式 2-2・Ⅲ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
35	Ⅲ － 2	今井木材株式会社		741-0063	山口県岩国市関戸１０３８－１	0827-43-1266
35	Ⅲ － 7	株式会社 みうら		746-0022	山口県周南市野村三丁目２４－１	0834-63-8811
35	Ⅲ － 17	株式会社 三和		754-0002	山口県山口市小郡下郷796-5	083-973-2829
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					

＜様式 2-2・Ⅳ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞ Ⅳ. プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ. プレカット						
35	Ⅳ － 2	今井木材株式会社		741-0063	山口県岩国市関戸１０３８－１	0827-43-1266
35	Ⅳ － 8	防秋産業株式会社		747-0062	山口県防府市上右田1159番地	0835-22-1189
35	Ⅳ － 16	大林産業　株式会社　佐山事業所		754-0894	山口県山口市佐山3-47	083--989-6950
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					

＜様式 2-2･Ｖ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ｖ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由
施工業者が設計業務を行う

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ｖ．設計							○	○
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							

<グループ構成員記入用リスト>Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)

<様式 2-2・Ⅵ-1>

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)							7	○	○
35	Ⅵ － 7	49405	株式会社 みうら		746-0022	山口県周南市野村三丁目24－1	0834-63-8811	○	
35	Ⅵ － 9	49462	株式会社 原工務店		747-0808	山口県防府市桑山2－11－18	0835-38-0233	○	
35	Ⅵ － 10	49359	株式会社寿工務店		750-0051	山口県下関市大坪本町25－25	083-232-3300	○	
35	Ⅵ － 11	49459	株式会社 トピア		753-0871	山口県山口市朝田131－1	083-928-5566	○	
35	Ⅵ － 12	49511	株式会社 ヨハネハウス		740-0034	山口県岩国市南岩国町2－5－14－8	0827-34-0480	○	
35	Ⅵ － 13	49347	安本建設 株式会社		740-0012	山口県岩国市元町1丁目2番14号	0827-22-5500	○	
35	Ⅵ － 14	49390	株式会社 ヒロノハウジング		742-0031	山口県柳井市南町7丁目－1－12	0820-23-0530	○	
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	平成28年（1月～12月）の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金の活用実績		被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELS工務店に該当
Ⅵ. 施工-2				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち木造認定低炭素住宅の実績		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	ゼロエネ住宅	○	○	○
				H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	○	○			
35	Ⅵ － 7	49405	株式会社 みうら	6 戸	7 戸	3 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○				
35	Ⅵ － 9	49462	株式会社 原工務店	32 戸	31 戸	11 戸	10 戸	0 戸	0 戸	1 戸	1 戸	㎡	㎡	○	○		○	○
35	Ⅵ － 10	49359	株式会社寿工務店	7 戸	8 戸	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	1 戸	1 戸	㎡	㎡	○			○	○
35	Ⅵ － 11	49459	株式会社 トピア	21 戸	24 戸	20 戸	21 戸	1 戸	1 戸	5 戸	2 戸	㎡	㎡	○	○		○	○
35	Ⅵ － 12	49511	株式会社 ヨハネハウス	8 戸	8 戸	4 戸	5 戸	2 戸	1 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○			○	
35	Ⅵ － 13	49347	安本建設 株式会社	7 戸	6 戸	7 戸	5 戸	1 戸	0 戸	1 戸	0 戸	㎡	㎡	○	○		○	○
35	Ⅵ － 14	49390	株式会社 ヒロノハウジング	25 戸	23 戸	3 戸	3 戸	0 戸	0 戸	1 戸	1 戸	㎡	㎡	○	○		○	○
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅶ. 木材を扱わない流通

＜様式 2-2・Ⅶ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 木材を扱わない流通						
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

＜様式 2-2・Ⅷ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種						
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－１＞

１．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称）やまぐち木の家ネットワーク地域型住宅	（地域型住宅供給対象地域）山口
２．グループの名称・結成年(必須)	（グループの名称）やまぐち木の家ネットワーク	（結成年）2012 年
３．過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0347-0639	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅）の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成29年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	● 最近のゲリラ豪雨に対応するために軒樋・縦樋・外構の雨水排水量を計算する。 ● 瓦屋根は全数ビス止めする。 ● 自立循環型設計ガイドラインの自然風の利用の気象データ資料を基に建設予定地の7月の卓越風を見越した居室の風の入り方を検討する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	● 構法は地域に伝わる在来軸組み工法とし、長期的な間取りの変化に対応できるようにする。 ● 外部に耐力壁を集中して設け、内部の間取りの変更が比較的可能な耐力壁構成とする。 ● 建て方後防水の処置を行うまでの間に構造躯体を雨水に濡らさないように、シートにて養生をできるだけ行う。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	● 軒の出を60センチ以上出す提案を行う。そのことで夏の日差しをさえぎり外壁の汚れ防止や劣化を防ぐことができる。 ● 積雪地域にある住宅で大屋根の場合は雪止めを設ける。	◎
④ ①～③の背景	● 山口県は瀬戸内海に面しており瀬戸内海式気候である。しかし、冬の季節風による雪や、山口盆地などの盆地特有の気候など決して暖かいだけの地域とは違う。特に梅雨時期・台風時には降水量が非常に多く被害も頻繁に起こっている。また台風が比較的多く通過する地域のため風への対策も必要な地域である。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	● 植林費用を捻出し植林活動の助成に当てる仕組みづくり。 ＜昨年度、484,776の金額を再造林を行う個人に植林費用の補てんとして支払完了。今年度は50万円程度支払予定。＞ ● 工務店からは製材所側に一定の棟数の木材を発注し、製材所から工務店へ、材料や価格の安定供給を行うための協定書を交わしている。	◎

イ．効率的な住宅生産体制の整備

【平成29年度対応方針】					◎、○記入欄
a	①-1 用材の寸法規格化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：●平成24年より用材の寸法規格化に取り組み構造材の規格化を図ったものを運用。（4寸・3.5寸材に適用）	◎
	①-2 使用建材の統一	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：●使用する建材（県産無垢材に限る）を統一するため、木材の柱・梁の材料を取って残りをどのような建材に有効利用ができるか検討を行っている。その木割により、間柱・胴縁・垂木の建材の寸法の統一を図る。	◎
	①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：●やまぐち木の家ネットワークのモデルプランを作成しておりこれに基づく標準仕様（材料並びに仕様を決定）を決めている。これに基づいた建物を昨年山口大学のエネマネハウスとして横浜みなとみらいに建築。	◎
	②-1 建材・資材調達の共同化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：●構造材においては価格・品質の協定を行っている。また中小の製材所から材料を供出して頂けるような協定を作成している（A製材所からは桁・梁、B製材所からは柱、C製材所からは土台等）このことで生産量の少ない製材所も工務店に木材を安定供給できる	◎
	②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：●次の月の木材の使用量は毎月の全体会議で工務店から伝達し、その後の製材会議にてどこの製材所がどれくらいの部材を供出できるかをその場で話す仕組みを持っている。	◎
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：●2カ月に一回の会議にて合理化できるところはないかを検討。今後発注業務並びにストックの木材の量をインターネット内に整備計画も検討。	○
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない	■ ある →	内容：●構造材については工務店からの一定供給がなされているかを確認し、その材料が製材所に平等に分配されているかを確認する。	◎
b.	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない	■ ある →	内容：●梁断面算定ソフトを当グループにて作成し活用（仕様部材を決めているために要件を打ち込むとその部材断面を登記できるソフトの作成）断面基準も明確にしている。	◎
	② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない	■ ある →	内容：●合法木材に加えやまぐち木の家ネットワーク独自の基準（乾燥方法や節の数等）を定め木材の見た目をより重視した基準にしている。	◎
	③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない	■ ある →	内容：●構造材の価格はグループ内は共通しており、価格が一定であり、よりよい材料が安定して入ることをうたっている。	◎
	④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない	■ ある →	内容：●無垢材を広く活用できないかと取り組み山口県にある建材試験センターにて無垢材の床剛性の試験を行い床倍率2.4倍を取得した構法の開発を行った。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		●一部記載しているが製材所のグループと山口県森林組合連合会並びに製材所と工務店がそれぞれ山口県の木材を使用する利用協定を結んでいる。山側は製材所に安定的永続的に購入してもらい、製材所は木材の価格の安定化を図る。また製材所は工務店に一定量を使用する約束をしており、そのことで安心して製材を行うことができる。工務店も優先的に価格の安定した、よりよい材料を購入できるというメリットがある。 ●再造林支援制度として個人の森林所有者に苗木の補助を行うことで再造林の活動意欲を促す。			◎

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　＜様式３－２＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）やまぐち木の家ネットワーク地域型住宅	（地域型住宅供給対象地域）山口
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）やまぐち木の家ネットワーク	（結成年）2012　年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	04-0347-0639	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】				◎、○記入欄
a	① 住宅履歴情報の蓄積			
	①-1 内容・蓄積の共通ルール	□ ない	■ ある → 内容：●工事写真の撮影ヶ所の共通化を図っている。	◎
	①-2 情報サービス機関の活用	■ ない	□ ある → 内容：	
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法	□ ない	■ ある → 内容：●事務局にどこの住宅履歴を使用したかの報告義務を有している。	◎
	② メンテナンス基準の整備			
	②-1 点検の共通ルール	□ ない	■ ある → 内容：●各社10年まで（瑕疵保険内）の点検時期を報告されておりその期日が防蟻等の保険に適合しているかは確認済。その後有償にて15年20年25年30年の定期点検の実施。	◎
	②-2 補修の共通ルール	□ ない	■ ある → 内容：●住まいの管理手帳を基にメンテナンス方法や、補修方法が記入されておりこれを共通ルールとする。	◎
	②-3 点検補修実施の確認手法	□ ない	■ ある → 内容：●30年間の維持保全計画を基に行われているか確認する。	◎
	③ 住まいの管理			
	③-1 住まい管理勉強会の実施	□ ない	■ ある → 内容：●住まいの管理手帳を基に会にて勉強会を再度実施予定。	◎
	③-2 DIY体験会等の実施	□ ない	■ ある → 内容：●9月にイベント開催予定。	◎
	③-3 その他の相談会等の実施	□ ない	■ ある → 内容：●やまぐち木の家推進協議会主催のやまぐち木の家フェアに参加予定。	◎
	④ 維持管理委員会等の設置	□ ない	■ ある → 内容：●維持管理またアフターメンテナンスを共有するグループを作成しており、その活動をやまぐち部会として再開させる。	◎
	⑤ その他の維持管理の手法	□ ない	■ ある → 内容：●全棟に住まいの管理手帳をお渡しし、住まい手自ら維持管理を務めていただくことを行う。	◎
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	□ ない	■ ある → 内容：●廃業・倒産事業者の建てられた住まい手の相談窓口を事務局に設ける。	◎
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	□ ない	■ ある → 内容：●住まいのコンシェルジュの育成を行っており、共通の瑕疵について対処方法など共有する。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		今後新築・リフォーム・環境・構造・インテリアなどすべての住まいに関する疑問を聞き回答できるなんでも相談コーナーを開設し、ワンストップで住まい手の疑問・質問に答えられる体制を事務局内に整える。		◎

エ．グループの技術力の向上

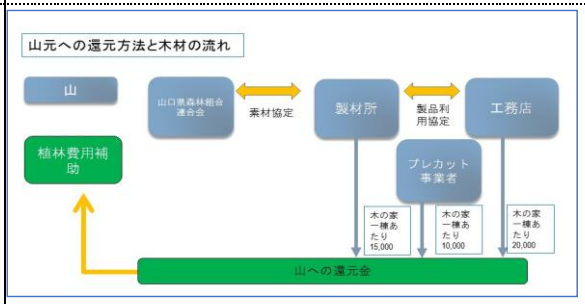
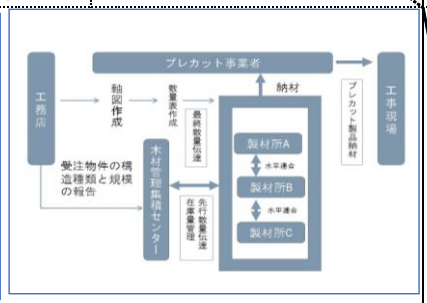
【平成29年度対応方針】				◎、○記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	■ ない	□ ある → 内容：	
	②-1 品質管理のための共通ルール	□ ない	■ ある → 内容：●優良県産木材認証制度に加えやまぐち木の家ネットワーク独自の基準を定め乾燥技術並びに見た目をより重視した基準にしている。	◎
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	□ ない	■ ある → 内容：●現場搬入の際の目視検査。	◎
	③-1 需給計画の策定	□ ない	■ ある → 内容：●やまぐち木の家ネットワークの材料の使用量の取り決めを毎年行っており今年は15棟の材料利用を製材所側と工務店側で取り決めている。	◎
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	□ ない	■ ある → 内容：●技術力は今までの培われてきたものに加え、省エネルギーの根本的な理解が必要と考え、自立循環型住宅の講習会を受講するように指導していく。（過去には主催経験あり）	◎
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	□ ない	■ ある → 内容：●製材所の乾燥技術は向上しているが邸別乾燥している現状では柱と梁の乾燥具合が違うといったように問題が多い。そのため部位別供出を念頭に置いた取り組みを行う	◎
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数　25	今年度の参加目標人数　5	◎
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数　10	今年度の参加目標人数　10	◎
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	□ ない	■ ある → 内容：●実施団体と連携し講習会の案内を積極的に行う	◎
c	① 新たな技術等の導入	□ ない	■ ある → 内容：●自立循環型住宅の講習会を基にどのようにすればエネルギー削減と住宅の快適性が両立できるか検討する。	◎
	② 新たな技術等の開発	■ ない	□ ある → 内容：	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		●今までこのグループでは無垢材の合成床の開発や木造住宅と鉄骨住宅の熱狂の差をサーモグラフィーで表記したり充填断熱・外断熱と木造住宅の相性を見たりと様々な研究課題に取り組んできた。今後はより良い快適な環境に加え、優しい空間をコストをかけずに出来るか検討。またリフォーム工事についても会として取り組んでいく。		◎

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

１．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称）やまぐち木の家ネットワーク地域型住宅	（地域型住宅供給対象地域）山口	
２．グループの名称・結成年月(必須)	（グループの名称）やまぐち木の家ネットワーク	（結成年）2012 年	
３．過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0347-0639		

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ．地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成29年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	●主要構造材（柱・梁・桁土台）については優良県産木材認証制度を受けた材で独自の基準（節の数や乾燥方法を決めた材料）を使用する ●主要構造材（柱・梁・桁土台）については80% ●大引・間柱については60%以上の割合を使用	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	□ 50%未満　□ 50%以上　■ 80%以上	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位 (必須)	主要構造材　土台：□ 使用していない　■ 使用している 柱：□ 使用していない　■ 使用している 梁・桁等の横架材等：□ 使用していない　■ 使用している 羽柄材　間柱、根太、垂木等：□ 使用していない　■ 使用している 造作材　枠材、廻縁等：■ 使用していない　□ 使用している 板材　壁板、床板等：■ 使用していない　□ 使用している	◎
	④ 地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明	 	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	□ ない　■ ある →　内容：●毎月の定例会にて在庫の把握を行い今後は集積センターの構築も視野に入れる	◎
	①-2 地域材価格の共有の仕組	□ ない　■ ある →　内容：●価格協定を山側と製材所　製材所と工務店が結んでいる	◎
	② グループ全体における地域材の需給予測	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：●受注活動時点から製材側にも情報が行くことで予測と準備ができる	◎
c	①-1 畳の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	◎
	①-2 和瓦の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	◎
	①-3 襖の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	◎
	①-4 障子の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	◎
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：●山口には杉やヒノキに加え椎木の内装材が使えるよ材がある。その材を積極的に活用できるよう指導していく	◎
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：●軒の出や広縁の積極的な活用を促す	◎
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：●冬の日射利用、夏の日射遮蔽、風の流れ等を考慮したモデルプランを作成し伝統的な住宅との比較を山口大学と行っている	◎
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：●在来軸組の構法の優位性を利用し、移築や増築もしくは減築ができるよう計画。	◎
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：●建物の色彩は高彩度の色彩のものは避け土や石など自然の色と馴染みやすい低彩度の色彩とする	◎
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：●国土交通省の「和の住まいのすすめ」にのっとった住宅づくりを推奨する	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		●地元に密着した企業であるからこそ小さな工務店・小さな製材所みんなが知恵と技術を発揮し、住宅を建てる住まい手により良い建物を提供できるような取り組みを行いそして地域が潤うことを目標として取り組む	◎

カ．その他

【平成29年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組		
平成28年熊本地震の復興に資する取組		

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（高度省エネ型・優良建築物型のみ）　　＜様式３－４＞

１．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称） やまぐち木の家ネットワーク地域型住宅	（地域型住宅供給対象地域） 山口
２．グループの名称・結成年月(必須)	（グループの名称） やまぐち木の家ネットワーク	（結成年） 2012 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0347-0639	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

やまぐち木の家ネットワークが取り組む建物の特徴は、未来に続く森林の育成とゼロエネ住宅による環境改善です。
昨年も植林費用の補助を行い未来の子供たちに木材を絶やさない取り組みを行っています。今後はこの取り組みを行いつつ化石燃料に頼らないゼロエネルギー住宅の建設を推奨していきます。しかも外皮性能が高い工務店を推奨し、より省エネルギー性の高い住宅を目指します。

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。